

※新聞記事のレイアウトを変更しております。

【質問】 4月から診療報酬が上がるという報道されています。医療費が増え続けている中、なぜ、診療報酬が上がるのでしょうか。
(73歳、男性)

診療報酬改定

【回答】 保険診療で行われる診療行為に対する価格を診療報酬と呼び、2年に1度改定されます。国の社会保障審議会医療保険部会・医療部会で基本的な医療政策について審議し、診療報酬改定にかかる「基本方針」を策定。同時に行われている政府の予算編成過程で改定率を決めます。この二つの決定を基に中央社会保険医療協議会（中医協）で個別の診療報酬項目に関する点数設定や算定条件等を決定します。



ります。

国民医療費が増え続け国の財政を圧迫しているとの

安全で良質な医療のため

医師らの労働環境改善へ

2018年度の改定率は医師の技術料に当たる医療本体部分を0・55%引き上げ、薬価、医療材料をそれぞれ1・65%、0・09%引き下げ、全体としては1・19%の引き下げとなることが決定しました。正確には、診療報酬は下がりますが、医療機関の大きな収入源である技術料は上が

報道を耳にしますが、それでも多くの医療機関の経営は厳しい状態にあります。特に、大病院や急性期を預かる大病院においてはその傾向が顕著で赤字経営に苦しんでいる医療機関も少なくありません。

今すぐにも労働環境改善がぜひとも必要です。さらには、控除対象外消費税問題が未解決のまま来年10月、消費税が10%にアップされると、さらなる負担増が加わり、今後病院経営が一層苦しくなると予測されています。

「医は仁術から算術に変わった」と言われますが、健全な経営がなければ良質な医療は提供できません。われわれは、本体0・55%の引き上げでもまだ不十分と思っていますが、皆さんの負担を考えると、これでも満足しなければならぬと考えています。皆さんのご理解をよろしくお願ひします。

(県医師会)

その原因は、大病院にないほど、医師や看護師など多くの医療関連職種を雇い

医療費本体の上昇は、病院の増収につながりますが、

入れないといけませんし、最新鋭の高度医療機器を備えないといけません。他の企業同様、就労者の労働環境を良くしないと労働意欲の低下を招き、良質な医療が行えなくなります。今、多くの勤務医や看護師は長時間労働で疲弊しており、

即医師だけの収入増加となるのではなく、病院で働く人々の賃金増と働き方改革、加えて医療機器の購入に充てられ、安全、良質な医療のために使われます。これがひいては皆さんが安心して医療機関にかかることができるようになるためのものです。

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。